

小麦荷受け



6月上旬、カントリーエレベーターで小麦の荷受けを行いました。生産者が、収穫した小麦をトラックで運んでくるので、受付をしたり、小麦を機械に流し入れるための準備をしたり、小麦の水分量を測ったりしました。

機械に流し入れた小麦はベルトコンベヤで運び、水分を

調整し、乾燥させ、サイロに保管します。カントリーエレベーターで保管された小麦は、JAたかさきの商品である高崎うどんや高崎生パスタ、浜川そばなどにも使われ、お客様のもとへお届けしています。



おまけ

6月ごろに麦畑でよく見られる麦わらロール（左写真）。これは、麦の穂を収穫したあと、ロールペラーという機械で藁（わら）を転がして作っています。この藁は、牛の寝床にしたり、発酵



させて牛の餌にしたりして利用されます。